

利用者の視点に立った東京の交通戦略 骨子(案)

交通戦略の骨子(案)

1 東京の交通における将来像

- ・ 利用者の視点に立った東京の交通戦略の目標像
- ・ 東京の交通戦略を進めるにあたっての基本的な考え方

2 東京都の交通における現状と課題

3 2020年までに展開する施策・事業

- 1) 交通結節点の乗換利便性向上
- 2) 歩行者空間創出
- 3) 舟運の活性化

- ・ 施策目的
- ・ 施策内容
- ・ 目標
- ・ スケジュール
(各施策ごとにPDCAを実施)

※各ワーキングのプロジェクトは横連携をとりながら実施

4 地区交通マネジメント(地域別戦略)

5 交通戦略の評価(PDCA)方法

パブリック
コメント

「利用者の視点」の取り込み

社会実験等におけるアンケート・ヒアリング調査、インターネットアンケート調査、各種団体等へのヒアリングなど、それぞれの施策・事業を検討していく中で、積極的に利用者の視点を取り込む。



各ワーキングにおける
施策・事業の検討

2020年までに展開する施策・事業（案）

1) 交通結節点WG

(1) 施策目的

- ・ 初めての人でも利用しやすく、分かりやすいターミナルの実現
- ・ 主要な乗換駅における鉄道からバス、利便施設等への円滑なアクセスの実現

(2) 施策内容

① ターミナル駅共通化の取組

- ターミナル駅における共通ガイドラインの策定

② 駅まちエリアマネジメントの推進方策の検討

- ターミナル駅補助制度の適用

(3) 目標

① ターミナル駅共通化の取組

- ・ 共通ガイドラインに基づくルールを策定した駅の数

(4) スケジュール

H28年度

H29年度～31年度

H32年度

● 駅における共通ガイドラインに基づくルールの策定

残りのターミナルにおける共通ガイドラインに基づくルールの策定

取組の評価、交通戦略後の展開方向性検討

2020年までに展開する施策・事業（案）

2) 道路空間活用WG

(1) 施策目的

- ・ 安心して寛ぎ、滞留できる歩行者空間の創出とネットワーク化
- ・ 地域公共交通の改善をめざした、地区レベルの交通政策(地区交通マネジメント)の検討

(2) 施策内容

① 歩行者空間創出戦略の展開

- 区市等との共同社会実験実施
- 統一的なサインデザインの検討

② 地域公共交通の改善

- 地区交通マネジメント(地域別戦略)として検討

(3) 目標

① 歩行者空間創出

- ・歩行者空間創出に向けた取組が行われた箇所数(●箇所)
- ・歩行者空間創出の取組が行われた地区における来街者満足度(事前/事後)

② 地域公共交通の改善

- ・地区交通マネジメント(地域別戦略)として設定

(4) スケジュール

H28年度	社会実験、対象地区候補の選定
H29年度～31年度	各地区等において事業実施
H32年度	評価、交通戦略後の展開方向性検討

2020年までに展開する施策・事業（案）

3) 舟運活性化WG

(1) 施策目的

- ・ 羽田空港と都心・臨海部を結ぶ航路の充実
- ・ 舟運の認知度向上
- ・ 水辺空間の利用環境の向上

(2) 施策内容

① 舟運運航に関する社会実験の実施

- 羽田～臨海部～都心を結ぶ航路による社会実験の実施
- 羽田空港と両国・浅草エリアを結ぶ縦軸と、日本橋と臨海部を結ぶ横軸の航路を設定

② 舟運運航に関する社会実験で使用する船着場を中心に施策展開

- 船着場を起点としたサイン計画
- 水辺空間・舟運活性化全体の情報提供

(3) 目標

① 羽田空港と都心・臨海部を結ぶ航路の充実

- ・ 航路の本数 など

② 舟運の認知度向上、水辺空間の利用環境の向上

- ・ サインが整備された地区
- ・ 利用者の満足度 など

(4) スケジュール

H28～31年度

H32年度

運航の社会実験、運航にあわせた施策の実施、民間事業による定期航路化の検討
取組の評価、交通戦略後の方向性の検討

4 地区交通マネジメントの展開の方向性 (地域別戦略を内包)

- 1) 各ワーキングにおける施策、事業を地域レベルの観点から再整理を行い、有機的な連携方法についての検討を行う。(地域別戦略)
(※第1回推進会議時に示した「地域別戦略」の施策展開として位置付け)

⇒ 指標の設定

- 2) 地域公共交通の課題をふまえたテーマや新たな交通の方向性について検討を行う。

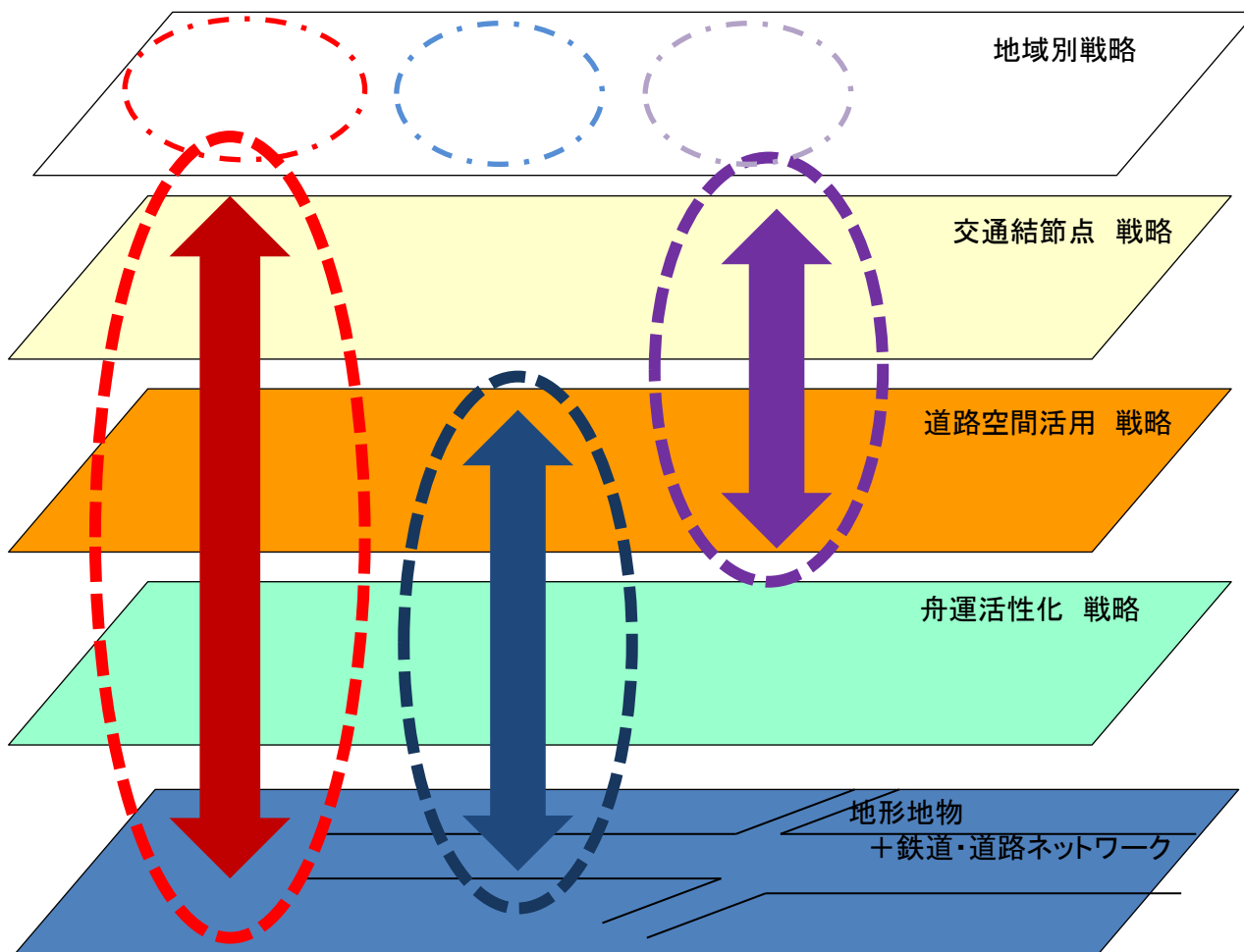
2020年まで

- 各WGの施策・事業の地域別連関の整理
各WGの施策・事業が重なる地域・地区において有機的な連携をとりながら事業を推進するための情報共有の場の設定等
- 2020年以降の地区交通マネジメントのテーマにそった地域・地区における展開の方向性の検討
(例)
 - ・ 過疎地域・交通空白地区等の交通利便性向上
 - ・ 他交通モードとの有機的連携の方法
 - ・ 自転車の利活用
 - ・ 新たな交通モード(自動運転、燃料電池車、超小型モビリティ 等)の活用の視点

…等

4 地区交通マネジメントのイメージ

(第1回資料時は地域別戦略のイメージ)



地域別戦略



2020年以降の地区交通マネジメントのテーマにそった地域・地区における展開の方向性検討

(例)

- ・過疎地域・交通空白地区等の交通利便性向上
- ・他交通モードとの有機的連携の方法
- ・自転車の利活用方法
- ・新たな交通モード(自動運転、燃料電池車、超小型モビリティ 等)の活用の視点

テーマ別検討

5 戦略の評価(PDCAの実施)(案)

■ 戦略の評価とその後の展開方向についての検討

- ・ 2020年の大会後、地区交通マネジメントにおける、
地域別戦略等で設定した指標について評価等を実施し、
その後の展開方向についての検討を行う